

事業部紹介

株式会社 アドバンテスト テラヘルツシステム事業部

株式会社アドバンテストは、2004年からテラヘルツ研究に着手し、テラヘルツアプリケーションに向けた技術開発に取り組みました。そして、2010年にCT解析装置であるTAS7000、2012年より超高速掃引の分光装置TAS7500シリーズを販売開始し、その後も光学系をフレキシブルに配置可能なTAS7500TS、廉価版のTAS7400シリーズと相次いで製品を発表してきました。その結果、ビジネスとしての基盤が整備できたことにより、本年4月より当社におけるテラヘルツ担当部署を、新規事業を立ち上げるための新企画商品開発室から、テラヘルツシステム事業部へと改組することになりました。これよりテラヘルツ波応用市場で本格的に事業を進めて参ります。様々な可能性のあるテラヘルツ分野において、我々のチャレンジはまだ道半ばではありますが、これまで我々を導き、また支えていただいた当フォーラム会員の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。今後も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

我々テラヘルツシステム事業部は、製品開発、顧客への技術サポート、営業の各機能を含んでおり、現在海外を含め約60名のメンバーが、活動しています。新規事業領域でのビジネス開拓ということで、ここにはテラヘルツの技術者だけでなく、各種アプリケーションの専門家をはじめ様々なエキスパートが所属しています。新しい分野に飛び出すことは大変ですが、そのぶん



達成感も大きく、若い人の成長も楽しみです。私を含め多くのメンバーが、テラヘルツビジネスで忙しく飛び回っており、世の中のテラヘルツの普及と共に我々の事業も拡大させたいと思っています。

開発テーマとしては、製品開発の他に、測定帯域およびダイナミックレンジ拡大等の要素技術開発にも力を入れています。その成果としては、LN導波路により7THzまでの広帯域なテラヘルツ波を発生する技術があります。この広帯域光源モジュールはTAS7500/7400SUに使用され、高域まで良好なSNで測定ができると好評頂いています。

当事業部の開発部門は、当社の半導体試験装置で使用するMEMSや化合物半導体デバイスの生産工場などがあるアドバンテスト仙台事業所を本拠地としています。仙台にお越しの際には、是非お立ち寄り下さい。

(今村元規：motoki.imamura@advantest.com, テラヘルツシステム事業部：info_t@jp.advantest.com)